内外電報

獨スパー協約承認

獨逸議會はスパー會議に於ける協約を承認せり（東京來電）

サガレン占領の聲明

サギレン州占領に對する帝國の聲明は英米は勿論、佛、伊等にも……されん（東京來電）

サガレン占領と米國

サガレン占領に對し米政府は之が永久的ならざるかと疑ひ説明を求め來れり（東京來電）

亞港防備隊新設

同時に宗谷無線電信局を擴張

……政府はアレキサンドロフスク港に海軍防備隊を新設し宗谷無線電信局の擴張を行ふに決せり（東京電報）

支艦砲擊抗議拒絶

本年度公債確定額

内閣愈々總辭職乎

海軍要路異動說

南北平和交渉促進

段一派處分會議

張新内閣組織畫策

日英同盟の將來

英佛石油協約

元兇逮捕令打切

波軍依然退却

白國普選採用

獨財界恐慌來

米國小麥崩落

蘭領共和國

小洋票反撥

千九百名解雇

動參任命近し

東路社債成績

北軍武裝解除

段氏辭任許可

張勳復活反對

官漢局長任命

徐の行方不明

京株仲買人並營業細則許可

客月貨移輸出

村落金融現況

臨時議會閉會式

京株仲買氏名

憲兵隊大移動

木村理事辭任

鮮銀株主總會

新鐵道

四百萬噸

釜山……

一大刷新

根本調查

製糖原料移入税免除

滿鐵貯炭

過日龍山

新線鐵道

最近西伯利情勢

自然終熄

購小資力

保護主義

過激派武力計畫

間島邦人救濟資金

新義州埠頭浚渫

世界造船噸數

水害罹災民

英國大使動靜

木村理事辭任經緯

鮮銀補缺理事候補者

風塵録

關釜聯絡船の無意味なる停船檢疫

十二時間を空費して得る處幾何 喜ぶのは宿屋ばかり

乘船物符にプレミヤムが附く 停船は寧ろ關門で行ふが可い

關釜聯絡船が下關から來る船に對してコレラの爲め停船檢疫を行ふなどと云ふは、あまり神經過敏に過ぎはせぬか……一方釜山入港の船舶に對して十二時間停船を行ひ……釜山入港の總て船客を檢疫し之れに伴ふ處置の方法として……今日に至つた。

現在二千餘名の犠牲の大なる

……ソレ丈けの必要ある檢疫であるかどうかを調べて見ると……

二府四十八縣

平和克復奉告祭

一日午前九時京城神社に執行 王公族、總督、軍司令官も參列

鐵道省門司鐵道

……局長……一行は……

富士登山自動車顚覆し

海軍技手卽死 重輕傷四名

關釜間連絡に小型船使用

一日より實行

一般壯丁に課稅

何れ近く實現されん 不公平なる兵役緩和法だが 今期議會は保留と決す

兵役に服さぬ

帝國臣民

教育召集に

保留研究の上來るべき議會に上程する事となつた

駐日英國大使が展望列車内で密議

出迎えの總領事と首を鳩めて 新聞記者訪問客を一切拒絕す

鮮内の勞銀

少しは下つた

	内地人	朝鮮人	支那人
大工	四.〇〇	三.〇〇	三.二〇
木挽	四.五〇	三.二〇	三.二〇
指物	四.〇〇		
同	三.二〇		
左官	四.五〇	三.三〇	

瓦職	内地人	五.五〇
	朝鮮人	三.五〇
煉瓦職	内地人	四.〇〇
	朝鮮人	二.〇〇
同人夫	支那人	一.五〇
石工	内地人	五.五〇
	朝鮮人	三.六〇
手傳人夫		二.〇〇
鳶		二.五〇
ペンキ職		四.六〇
ブリキ職		四.〇〇

猫

○子の弟より 許して下さい

勞働會の假面を被つた朝鮮民團解散さる

此種團體は撲滅を斷行せん と當局の取締勵行宣明

消防隊の水泳

不穩過激の

煽動演說

職工を勤

爾來密に

宗橋禮拜堂を巣窟させる不逞鮮人一味逮捕

上海より嬪に不穩新聞の輸入 吳華英の妻を中心として 一味悉く檢事局へ送致

此際嚴重

獨立運動

女死名を

密議を凝

本年四月

十三名の

色眼鏡

白衣物語（四）

看護婦が 白首になつた

投機失敗

が原因か 案外多い借金

直一の逃亡は

確證を得

乘客虎疫に罹る

京釜線列車にて

檢病戸口調査

東大門署に於て

總代に銀盃

出來心

級帳

ルイレキ グリグリ キノス

小栗判官照手姫

(二十九)

旭亭様山口演

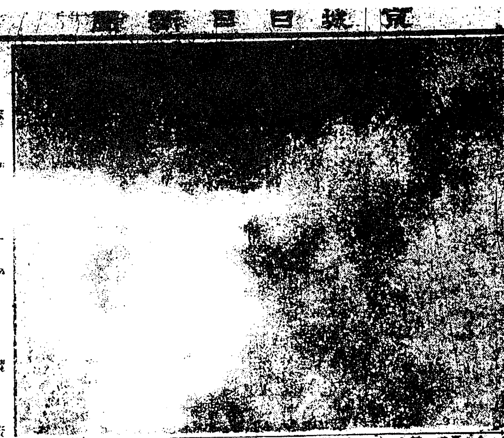
嫉妬の松葉燻し

梶「何んだ、女が待たしてあると知らないか此方へお入んなさい」照「マア
え……モシお前さん、何方だか知らないが此方へお入んなさい」
「ヘイ御免下さいまし」梶「マア小助さん、大層美しい此の娘さんは一體何處の娘だえ」小「俺が商ひに行く鎌倉權現堂の富丸屋といふ女郎屋の娘おてるさんだ、富丸屋から火事を出して、權現堂は無論の事、御町まで焼いて了ひ、土地に居られないのでチリヾヾバラヾヾ、マア可哀想に娘さんが只一人尋ねる者があつて來た處、丁度俺が此方へ來た時と同じやうに、其の尋ねる人といふのが行方知れず、途方に暮れて……ウロヾヽ彷徨して居たので俺が通りかゝり、任氣を聞いてお連れ申し……

照「ヤイ両国」と突然娘の襟首へ手を掛け、グイと手許へ引寄せて 梶「エ、腹が立つヾヽ、小助さんも小助さんだが、汝も汝だ、富丸屋の一人娘だ、お嬢さんだと、能くも人を馬鹿にしやアがる、汝は大方鎌倉權現堂の女郎で、アノ小助さんを誘惑して居る奴だらう、左ればこそ小助さんは、少し遊んでもあつて金が儲かると、直ぐ汝の所へ遊びに行き、而して家へ歸つて來ても、今日は漁が後れて商ひに行くのが遅くなつたなんどと……稼いだ金も皆汝に注ぎ込……

……を懲らすには……ウム、松の木へ縛しつけ、松葉燻しにして呉れるから覺悟をしろ」と……引出し、助けやうとする……して居りますから、……者なく、松の木へ縛び附けたる……上にて……松葉を積上げ、それへ火を放け……其煙の渦巻立つて上る……に……

した、二三日消めて置いて、その……んで居たんだらう、思へばヾヾ憎らしい……汝何うするか見ろ……一つ逃れゝば又一つ、又も難儀は……照手姫に降りかゝる、何ういふ因果の身かと……涙を揚げて泣き……「どうぞ免して下さい、私は……決して然ういふ者ではない、全く……



夏の暑さを平氣の平左衛門ピント藥
生一本の芳醇なる味を保つ
マルトミの天來酒を付されよ
代價は一升一圓五十錢 電話二五〇八番へ

●古本高價買入 ●是非御試買を乞ふ ●本町二丁目 群書堂 電話三一九五

八月一日(日曜日)

演藝案内

喜樂館 本町一丁目 電話五九七番
大正館
壽館
黃金館 電話二三六六番
日本活動寫眞株式會社

ナパーワン 全三十巻
金剛太郎 全五巻
人間タンク 第三回目
上泉伊勢守
春風の曲 全五巻
野天の男 全七巻
文福茶釜 全五巻

朝鮮郵船

元山出帆 / 釜山出帆 / 木浦出帆 / 仁川出帆

朝鮮郵船株式會社

勸業債券買入 京城太平通一ノ三 矢田商店 電話二七九三番

尺八 無代進呈 獨習録に新式速成自在 東京研究會

月やく おろし通經劑 流經 數拾萬

御名刺 大平堂 京城本町二ノ三九

流行 懷中日光時計 勿驚ダの九十錢

金光堂時計店

採子の代まで履ける 輕い銀の下駄

福田商會







徳島足袋株式會社

(著名商店案内)

河原寫眞館 京城旭町一丁目 電話二九八一番
中田普成社 京城長谷川町 電話二一〇五番
玉植京城支店 京城南大門通三丁目
パイン萬年筆 京城製作所 電話三〇七番
本城屋商會 京城本町二丁目
山岸天佑堂 京城本町一丁目
淀屋帽子店 京城本町一丁目
サクラヤ
土山寫眞館 京城黃金町二丁目
戸田春藏本店 京城南大門通三丁目
大塚商店 京城本町二丁目
野田商店 京城本町二丁目
下川益一商店 京城本町三丁目
瀧川靜江 京城明治町二丁目
森川商店 京城本町三丁目

大島商店 京城明治町二丁目
岩見屋呉服店 京城本町三丁目
松菊屋 京城本町二丁目
三中井呉服店 京城本町一丁目
後藤卓二商店 京城本町一丁目
宇治園 京城本町
神吉長作 京城本町三丁目
咲良喜 京城旭町二丁目
カフエータイガー 京城西大門通三丁目
佐藤半次郎 京城本町三丁目

木村屋京城支店 京城明治町二丁目 電話二八七〇番
石川時計店 京城本町三丁目
自働車講習所 京城黃金町三丁目
花本洋服店 京城本町二丁目
巴屋洋服店 京城本町三丁目

秋種 京城勸農園 朝鮮の種苗農具肥料店の元祖 京城旅本町三丁目 電話四七〇四番

貴虎園 各種 松枝茶舗

名物 天扶羅 松金 京城本町二丁目 電話六八六番

白井商會 白井友之助

現物問屋

京染 ラカダ 永樂町二丁目 電話四三一番

地金高 徳力本店出張所 京城明治町 電話一五七二番

金銀

履物問屋 仁川宮町 村上商店

永樂醫院 京城永樂町

祝創刊 痔疾專門 入院隨意 京城久枝肛門病院 京城明治町二丁目

かつをぶし 淺草のり 東京澤庵 印麻裏

日本一少女浪劇 千歳家一團 來る 七月二十八日午後六時開幕 壽館

ラクトーゲン



決して腐らず固らぬ
母乳
サラヽとした粉末純乳
そつくりそのまゝの成分を輸入にしたる
湯にとけば母のお乳となる

梅雨から夏にかけては何も斯も誠に腐易く殊にコレラや赤痢の流行する此際に可愛いヽ赤ちやんにお乳が無いとて不安な牛乳やコンデンスミルクをお飲せになるは實に危險でございます

英國保健衛生醫務局の報告によると
▲母乳で育てられてゐる嬰兒に比べて牛乳養育兒は七倍、コンデンスミルク養育兒は十四倍も多く病病に罹ります

ラクトーゲンは全く此憂がないので各國有識者の間に於ては勿論理解ある家庭では必ず使用されてゐます

發賣元 株式會社 乾卯商店



京城日日新聞
年中無休刊

朝鮮を閑却す（五）

……この藝術家の心を以つてゐる宗教の力がなしとせば、……死せる宗教の力か……

殖民地（六）　拓殖局編

第二節　氣候風土

第一　朝鮮

第二　樺太

第二　臺灣

浦鹽新内閣の陣容　其の政治方針と聯立組織の時機

一日一人（千九）　ヒマラヤ山人　太田鮮銀理事

創作　創生の歡び（二十二）　藤波英夫

